

日本市民スポーツ連盟イヤーランド認定コース

白水阿弥陀堂・産業遺産コース

スタート・ゴール せんだいや「ラトビル角」

距離 15Km

TEL0246-23-0254

A面

①せんだいや（ラトビル角）～平大通り～②6号国道地下道菱川町方面・出口～
～小太郎町公園（トイレ）～③菱川橋手前右折・新川堤防～三崎橋手前から
～④堤防下へ～三崎橋下～「いわき芸術文化交流館「アリオス」」～梅本橋下
「いわき市役所」～小島橋下～尼子橋下（赤い橋）～新尼子橋下（R6）～
「いわき中央警察署」～一之矢橋下～⑤堤防下から上へ～つるまき橋堤防へ～
R49号下～⑥みまや橋手前・横断～「いわき保健福祉センター」右～

A面

～R49号下・先横断～⑤つるまき橋・堤防下～④～③～②～
①ウオーキング・ステーション せんだいや ゴール

歩き終わったら基地に戻り、日本市民スポーツ連盟パスポートに
認定印を押してもらってください。（新規のパスポートは1セッ
ト200円です。）16時までにはゴールしてください。

白水阿弥陀堂

康平5年(1062)に、御冷静天皇から岩城五郡の領主に任命され、岩城一族の基を作った平成衡(たいらのなりひら)の妻 徳姫(平泉藤原清衡の娘で後の徳尼)が1160年に心懸していた白水寺住職智徳和尚を開山に仰いで開基になり、故郷平泉の阿弥陀堂を参考にして平安後期の浄土信仰から阿弥陀堂を建て、夫の冥福を祈る常行堂に建てた寺伝とされています。

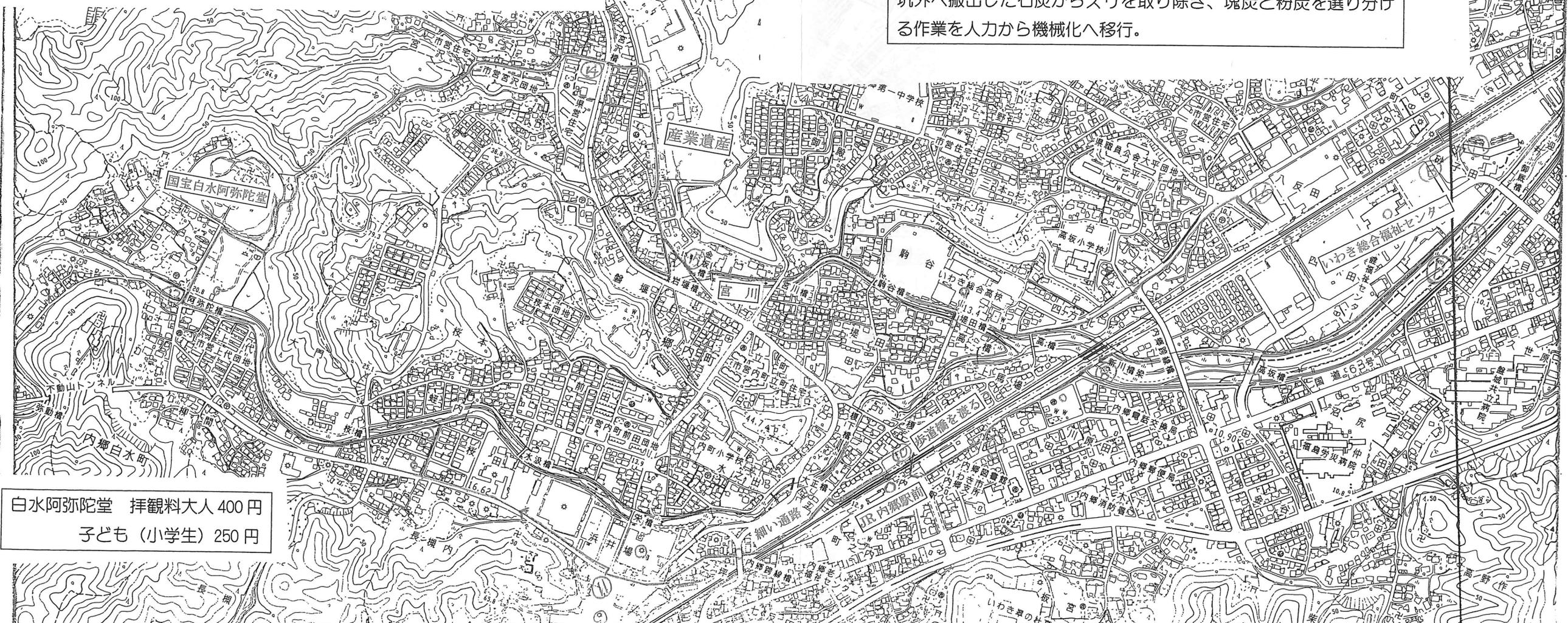
お堂は国宝に指定されています。御堂は方三間の宝形(ほうぎょう)造りで、美しい勾配に美事に調和した反りをつけた柿葺きの屋根。深い軒下に一手先組みの斗挟(ときょう)を組む精巧な造りである。御堂に安置されている御仏は阿弥陀如来で、三尊形式の観世音菩薩と姿勢菩薩を脇侍にして更に仏法を護る神の四天王のうち、持国天(じこく)「東方守護」と多聞天(たもん)「北方守護」の二天が、三尊の両脇を固めています。

阿弥陀三尊は国指定重要文化財で、「行基菩薩の作で平泉の如来と一作」とされている。

B面

⑦ 高坂橋手前・横断 ~ 内郷諺線橋下 ~ ⑧ 新川・左折市道へ ~ 「内郷児童館」左 ~ ⑨ 市道横断 ~ 住宅路地 ~ 内郷駅前(トイレ) ~ ⑩ 諺線橋を渡る ~ 公園「内郷商工会」横切る ~ 線路横・通路直進 ~ 諺線橋下 ~ 市道(歩道) ~ 「工場」 ~ ⑪ 横断歩道 渡る ~ 右側直進 ~ コンビニ手前・右折 ~ T字路新川・⑫左折 ~ 堤防 ~ ⑬ 阿弥陀堂橋渡る ~ 駐車場(トイレ)・観光案内所 ~ 公園・「国宝白水阿弥陀堂」一周散策 ~ 阿弥陀堂・右奥上り坂通路・切り通し ~ 住宅団地 ~ ⑭ T字路 県道22横断・宮川(近くにコンビニ)・宮沢橋渡る ~ T字路「工場」右折 ~ 「産業遺産」 ~ 「宮保育所」 ~ 宮川 ⑮ 金坂橋 左岸歩く ~ 市道下「右側直進」 ~ 「高校前」 ~ 歩道なし ~ 高坂小交差点横断 ~ 「八反田簡易郵便局」 ~ ⑯ 交差点横断・右折 ~ 地下道・途中左折 ~ 福祉センター出口 ~ 歩道 直進

常磐炭鉱内郷鉱遺産
内郷水中貯炭場
全国初の水中貯炭槽として、昭和29年(1954)10月完成
石炭の品質・カロリー低下防止を図った。
この裏には、中央選炭工場跡があります。
坑外へ搬出した石炭からズリを取り除き、塊炭と粉炭を選り分ける作業を人力から機械化へ移行。



白水阿弥陀堂 拝観料大人 400円
子ども(小学生) 250円